

## 解答 3年 8章 標本調査

### ① およそ60個

⇒ 抽出した300個の中にふくまれる不良品の割合は  $\frac{2}{300}$  だから、9000個の製品の中にふくまれる不良品のおよその個数は、

$$9000 \times \frac{2}{300} = 60$$

〔別解〕

9000個の製品の中にふくまれる不良品の数をおよそ  $x$  個とすると、

$$300 : 2 = 9000 : x$$

$$300x = 2 \times 9000$$

$$x = 60$$

### ② およそ600本

⇒ この箱の中から引いた48本のくじにふくまれる当たりくじの割合は  $\frac{2}{48}$  だから、箱の中に最初に入っていたくじの本数をおよそ  $x$  本とすると、

$$x \times \frac{2}{48} = 25$$

$$x = 600$$

〔別解〕

箱の中に最初に入っていたくじの本数をおよそ  $x$  本とすると、

$$x : 25 = 48 : 2$$

$$2x = 25 \times 48$$

$$x = 600$$

### ③ およそ2300個

⇒ 箱の中に入っていた白い球の個数をおよそ  $x$  個とすると、

$$200 : (x + 200) = 4 : 50$$

$$10000 = 4(x + 200)$$

$$10000 = 4x + 800$$

$$4x = 9200$$

$$x = 2300$$

したがって、箱の中に入っていた白い球の個数はおよそ2300個と推測することができる。